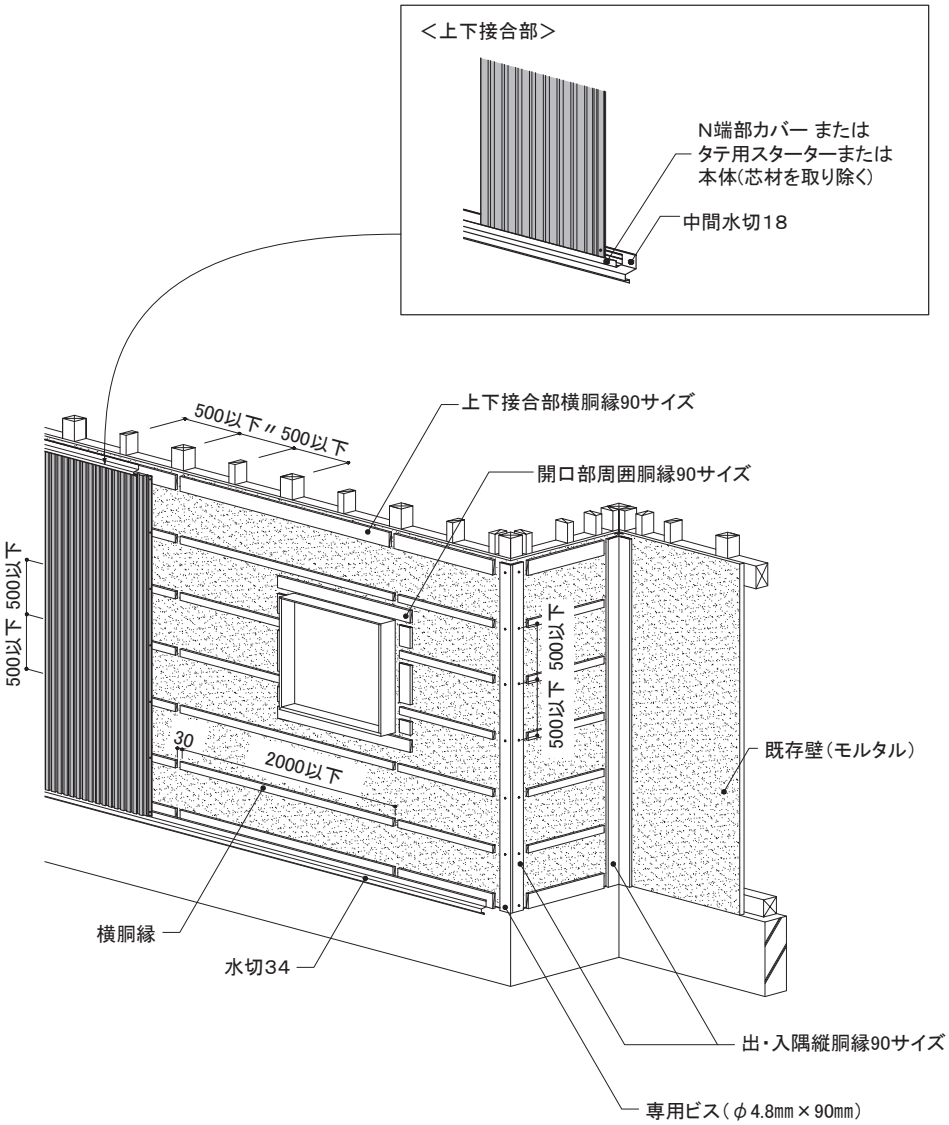
センターサイディング	工 法	下 地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	縦	横胴縁@500㎜以下

1）基本構成図・下地組図

●水切34を胴縁に取り付けます。
●木胴縁は、厚み18㎜以上の乾燥材を使用します。
●木胴縁の幅は45㎜以上を標準サイズとし、出入隅部や上下接合部、開口部まわりなどの指定箇所には倍幅の90㎜、または45㎜幅2本組みとします。
●木胴縁は留め付ける前に既存のモルタル下地の不陸状態を確認し、不陸は不陸調整材などを用いて、専用ビス（φ4．8㎜×90㎜）を使用して500㎜以下の間隔で躯体に留め付けます。
（不陸調整方法：P34参照）
●下地組みは必ず通気ができるように、2000㎜以下の間隔で30㎜程度の隙間を設けます。
●横胴縁と開口部まわりの胴縁は30㎜程度の隙間を設け、通気する構造とします。